

「腹部手術における硬膜外麻酔前 CT 矢状断層評価の試み」について 研究協力をお願い

【研究目的】

当院では腹部手術に際し、術後硬膜外持続注入による自己調節鎮痛法（PCA）を積極的に施行しています。しかし、高齢患者さんにおかれましては脊椎の変形や前屈可動制限などにより、硬膜外麻酔カテーテル挿入に難渋することが時にあります。また、体型によっては、刺入距離が長くなり不安感が発生することもあります。そこで今回、術前の胸腹部 CT から胸腰椎矢状断層を構築し、硬膜外穿刺ルートおよび穿刺角度や距離について検討し、診療に役立てることを目的としています。

【対象】 2018 年 4 月より 2020 年 3 月までに外科において硬膜外麻酔カテーテル挿入適応のある方です。

【方法】 対象とされた方の CT 撮影情報より画像解析処理装置ワークステーションを用いて矢状断層を構築し、以下の 4 項目について検討いたします。1) 胸腰椎の棘突起間に結んだラインとの至適穿刺角度、2) 穿刺ラインの棘突起から黄靱帯腹側縁までの距離、皮膚から黄靱帯腹側縁までの距離、および皮下軟部組織の距離、3) 正中穿刺と仮定したときの硬膜外穿刺の可能性の有無、4) 硬膜外麻酔成功率。

【研究期間】 2018 年 4 月より 2 年間です。

【個人情報について】

当研究のデータ収集に際しては、対象者を特定しうる情報は院内で厳重に管理し、個人が同定されないように匿名化した上でデータ収集、検討を行います。また、研究の成果が発表される場においても、対象者が特定されることはありません。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を付加するものではありません。さらに、新たに費用が発生することはありません。

また、本研究は、当院の倫理審査委員会の承認を得ております。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願い致します。当研究に関してご質問がある方や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用される事を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 15 時の間に下記医師までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

田野病院外科 医師 近森文夫
電話 (0887) 38-7111 (代表)